



受付第06A3439号

受付日：平成19年 2月 9日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成19年 3月 8日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号

試験名称	床合板を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県土浦市大畑702-1
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：コンパクトコーナー床合板仕様 用途：柱脚の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：60×27×28mm，厚さ2.3mm（図-3参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 柱側木ねじ：TB-55，3本使用 長さ：57.4mm，ねじ部の長さ：51mm，ねじ部の外径：6.2mm 谷の径：4.0mm，ねじ山のピッチ：3.18mm，ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH22A (JIS G 3507-2)，表面処理：ダクロタイズド処理 横架材側木ねじ：TB-101D，2本使用 長さ：100mm，ねじ部の長さ：80mm，ねじ部の外径：6.1mm 谷の径：4.1mm，ねじ山のピッチ：3mm，ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH22A，表面処理：ダクロタイズド処理 3. 使用軸組等 柱及び横架材：樹種：すぎ，寸法：105×105mm 床合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ30mm 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力(P _{0t})：6.7kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6
試験期間	平成19年 2月19日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 室 星 啓 和 試験実施者 高 橋 慶 太 ， 林 崎 正 伸
試験場所	中央試験所